

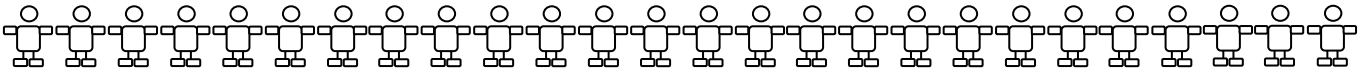
発行：2020年度 第4号 3月15日(月)

三国中校区「なかよし地域ネット」通信

発行者：三国中校区「なかよし地域ネット」人権のまちづくり推進連絡会

会長 白木 博昭 / (文責) 事務局長 楠 良司

連絡先： 小郡市教育委員会 人権・同和教育課 電話 72-2111 内線532



人権学習の取り組みが行われました！（小・中学校）

三国中校区の小・中学校（三国小学校・のぞみが丘小学校・三国中学校）では、2月に人権学習の取り組みが行われました。

それぞれの学年の発達段階や、学年の実態にあわせた内容で、「人権」に関する学習を行いました。「友だち」「なかま」「いじめ」「差別」「自分の学級」など、学習の視点はさまざまですが、子どもたちは自分の考えをノートに書いたり、友だちに伝えたりと、意欲的に学習に取り組んでいました。



～ 人権学習での子どもたちの言葉 ～

- 一人ではむりでも、友だちといっしょだったらおかしいことをおかしいと言える。
- 考えがちがうのはあたりまえ。ちがっていい。個性は大事。
- いじめは、(いじめている人、いじめられている人だけでなく) クラスの問題として考えなければならないと思う。
- (先生に言うこともできるけど、) 自分たちで解決したい。



子どもたちは、仲間の大切さやちがいを認め合うことの大切さをしっかり理解しているとともに、学級での出来事を自分事としてとらえ、自分たちで解決していこうという意欲をもっています。これまで、学校や家庭、地域でしっかりと人権感覚が培われてきているのだと思います。

3月となり、子どもたちにとっては、1年間のまとめ、そして次の学年への準備の時期となりました。卒業や進級を前にさまざまな思いをもつ子どもたちだと思います。これからも人権感覚を磨き続け、よりよい三国中校区をつくる「人権のまちづくり」の一員として、学び、気づき、行動し続けてほしいと思います。



福岡県から感謝状をいただきました！



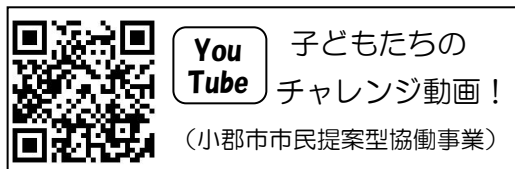
のぞみいきいきアンビシャス広場 中間 敏久さん、おめでとうございます。

2月16日(火)、アンビシャス運動参加団体等表彰式が小郡市役所で行われ、のぞみいきいきアンビシャス広場の中間敏久さん(美鈴が丘)が、福岡県青少年アンビシャス運動推進本部から感謝状を受けました。

中間さんは、2000年4月の広場開設から「畑(芋ほり)」「鉄板部(中学生の焼きそば出店)」「甕島キャンプ」「あすなるコンサート」など、子どもたちの育成活動に汗を流してご尽力いただいています。

この日は、くろつちアンビシャス広場さん、アンビネット小郡市地域連携協議会さんも表彰を受けています。

アンビシャス広場で体験活動に参加した子どもたちは、きっと楽しい思い出を将来の力にしてくれると思います。中間さん、これからもよろしくお願い致します。



福祉車両をご存知ですか？



すべての人が一人で自由に移動がしたい！行きたい時に、行きたい場所へ行ける！そう思いながら車を使った生活を送っていらっしやると思います。

そのような思いのなか、身体の不自由の方や高齢者などに寄り添った福祉車両があり、お一人おひとりの社会参画の生活が広がっています。

具体的には「手のみ運転装置」(足を使わずに運転することができる)、「左足アクセル」(右足を使わずに運転することが

できる)、「ウインカーやワイパースイッチ改造、ハンドル補助装置」(右手、または左手を使わずに運転することができる)などなど、お一人おひとりのニーズに合わせた数々の補助装置があります。もちろん福祉車両を使って運転免許も取得可能です。

さらに、誰もが楽な乗降・楽しい会話をしながら移動(ドライブ)したいと思うものです。

「助手席や2列目セカンドシートが回転して乗降」「車いすごとスロープを使って乗降」「車いすを収納・固定」などの多様な備えもあります。一例をご紹介しましたが、こういった福祉装備によっては車両購入時の消費税が非課税、また、個人の障がいの「級」に応じて、県・市町村によって、「自動車税(環境性能割)(種別割)」が減免になるなどの助成制度もあります。誰もが会いたい人に、会いに行ける、移動の喜びを感じられることは、生活の幅がひろがる、とても大切なことだと思います。

第9回 桜コンサート開催中止のお知らせ

例年4月の第1日曜日に、九州歴史資料館で開催しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の面から中止することとなりました。

楽しみにして下さっていた皆様、また次回よろしくお願ひ致します。